

眺望のよい廃校を
仕込み蔵として再生

学校蔵カフェ

尾畑酒造が仕込み体験希望者を受け入れる、廃校を再生した施設。この夏、その一部でカフェを開業。**【往】新潟県佐渡市西三川1871 ☎090・4327・3614 ☎11時～16時 休日曜～火曜** **【交】両津港から車で約45分**



魅力ある新潟の島を満喫

錦秋の佐渡で 歴史と文化を学ぶ旅

『古事記』にもその名が記されている佐渡島。豊かな自然が残る島には、江戸時代からの歴史と風土を生かす文化があった。



東洋一といわれた
近代遺産の象徴的存在

北沢浮遊選鉱場跡

銅の製造過程で行なう浮遊選鉱法を金銀の採取に応用し、日本で初めて実用化に成功した施設の跡。**【往】新潟県佐渡市相川北沢町3-2 ☎0259・74・2389 (ゴールデン佐渡) ※見学自由 休無休** **【交】両津港から車で約50分**



江戸幕府の財源とも
なった重要な鉱山

佐渡金山

慶長6年(1601)に発見され、最盛期は年間約400kgの金を産出。写真は象徴的な道遊の割戸。**【往】新潟県佐渡市下相川1305 ☎0259・74・2389 ☎4月～10月/8時～17時30分、11月～3月/8時30分～17時 料大人900円～ 休無休** **【交】両津港から車で約50分**



江戸時代の状態を再現した坑道・探掘跡を見学できる(写真右)。明治時代から平成元年まで使用された坑道を出ると、道遊の割戸が眼前に現れる。佐渡島立歴史資料館で



佐渡島は、何事も深く濃い。佐渡というと、金山だ。古くは西三川地区で平安時代から砂金を産出したというが、相川地区の本格的な開発は、関ヶ原の戦いの翌年の慶長6年(1601)。シンボルは「道遊の割戸」だ。山のとっぺんが真つ二つに割れている。タテ74m、ヨコ30mのV字形に山が裂けている。不思議な光景だ。それも、人間の作為によるという。

「最初は露頭掘りでした。金脈は板状に地中に埋もれているので、山の頂上から金脈のみを下へ掘り進むうち、山が割れてしまったのです」佐渡金山を運営するゴールデン佐渡の主任補・名畑翔さん。地下に延びる坑道の総延長は400km。これは佐渡から東京の直線距離に相当するという。江戸時代から閉山される平成元年までの400年近くにわたる開発の結果だ。年間を通じて平均気温約10度という暗い坑道を歩くとヒンヤリする。深く濃い佐渡金山の歴史を実感した。

麓に広がる相川一帯だ。鉱山を支えた人たちの暮らしの名残りが残る。段丘を生かしてつくられた鉱山の町には、江戸時代の最盛期には約5万人が住んでいたというが、明治、大正、昭和とヤマに生きた庶民の営みが、風情ある細い坂道に凝縮して閉じ込められている。かつて島内には200軒以上の酒蔵があったというほど日本酒が好まれ、現在5軒が残る。なかでも尾畑酒造は新たな取り組みで注目されている。また、温泉が多く、源泉かけ流しとして八幡温泉が知

られ、海の幸も豊かだ。島の文化には、ただよが秘められている。鎌倉の乱で敗れた順徳天皇の宗祖・日蓮上人、その代の能楽の祖・世阿弥も流されたが、わけへだた入れてきた。人の情が厚く、天皇に供奉した遠藤為朝の塔が立つ、ひなびた寺を落ち着かせてくれる。佐渡の山々はまもなく、い紅葉を迎える。

評価の高い「真野鶴」を
造る蔵元

尾畑酒造

明治25年(1892)創業、佐渡の風土を大切に酒造りを行なう。専務取締役の尾畑留美子さん(右)と試飲する片山修さん。**【往】新潟県佐渡市真野新町449 ☎0259・55・3171 ☎9時～16時 休無休** **【交】両津港から車で約30分**



かけ流し温泉 八幡館

中心部、海に近
林の中にある温
。紅ズワイガニ
めとした佐渡の
能できる。**【往】新潟
市八幡2043
☎57・2141 料
食付きひとり1
)円～** **【交】両津
車で約30分**



大人の休日 倶楽部

「部パス」を利用して新潟へ
しか？
北海道のフリーエリアで広く、自由
る、おトクなきっぷ「大人の休日倶
楽部」24日から発売予定です。

11月24日(木)～12月6日(火)
10月24日(月)～12月1日(木)

北海道 25660円 新潟県 11110円